

第IV章 末期がん患者の認定状況調査

目 次

第IV章 末期がん患者の認定状況調	133
1. 調査の目的	133
2. 調査の方法	134
3. 調査の結果	136
3.1 保険者単位の基礎集計	137
3.2 認定期間の長期化に関する検討	147
3.3 患者単位の基礎集計	151
3.4 申請後の生存曲線	157
3.5 申請後の早期死亡に関する検討	158
3.6 認定期間と認定前死亡率等のシミュレーション	160
4. まとめ	162
附録A. 調査票	165
附録B. 認定期間のバラツキ	167
附録C. がん発生部位別の生存曲線	169

第IV章 末期がん患者の認定状況調査

1. 調査の目的

要介護認定における特定疾病とは、心身の病的加齢現象との医学的関係があると考えられる疾病であり、加齢に伴って生じる心身の変化に起因し、要介護状態の原因である心身の障害を生じさせると認められる疾病のことである。

介護保険法施行令第二条に定められている特定疾病のうち、「がん（医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断したものに限る。）」では、心身の状況に応じて迅速に介護サービスの提供が必要となる場合がある。一部の保険者では、末期がん患者からの申請を受けた場合、同日のうちに認定調査を実施し、直近の介護認定審査会で二次判定を行うなど、要介護認定を迅速に実施するようにしている。

しかしながら、各保険者が末期がん患者の要介護認定にどの程度の日数を要しているか等について、実証データに基づいた実態把握はなされていない。

本調査では第2号被保険者を対象として、末期がん患者が要介護認定を申請してから認定されるまでの日数、資格喪失までの日数等について把握するとともに、申請時点において「末期がん」であるかどうかを、保険者がどのようにして判断しているかを調査する。本調査で得られたデータを集計・分析することにより、保険者が末期がん患者への要介護認定を実施する上での、今後の課題を検討していくための基礎資料を提供することを目的とする。

2. 調査の方法

介護保険の全ての保険者を対象として調査票(附録を参照)を配布し、記入したものを返送してもらった。データの収集においては倫理面に十分に配慮し、例えば個人情報が匿名化されたデータのみを提供してもらっている。

- 調査対象: 末期がんと診断された要介護認定の申請者(第2号被保険者のみ)
- 調査期間: 平成22年5月～10月の6か月間(期間中に新規申請があったものを対象とする)
- 調査方法: 調査票を介護保険の全ての保険者に送付し、担当者に記入してもらう。
- 調査項目: 年齢、性別、基礎疾患、申請日、認定調査日、審査会開催日、認定日、資格喪失日 等

調査票は、平均日数などを記入してもらう「調査票A」と、末期がん患者ごとに認定状況を記入してもらう「調査票B」の2種類ある。以下に、調査項目を示す。

No.	「調査票A」の項目	区分
01	末期がん患者の申請日から調査実施日までの平均日数	数値
02	末期がん患者の申請日から主治医意見書入手までの平均日数	数値
03	末期がん患者の申請日から二次判定日までの平均日数	数値
04	迅速な認定調査を必要とする「末期がん」の申請時点での把握方法	記述
05	新規申請者全体の申請日から調査実施日までの平均日数	数値
06	新規申請者全体の申請日から主治医意見書入手までの平均日数	数値
07	新規申請者全体の申請日から二次判定日までの平均日数	数値

No.	「調査票B」の大項目	「調査票B」の小項目	区分
01	基本属性	年齢	数値
02		性別	コード
03		基礎疾患	記述
04	新規の申請	申請日	日付
05		認定調査日	日付
06		審査会開催日	日付
07		認定日	日付
08		認定有効期間(開始)	日付
09		認定有効期間(終了)	日付
10		一次判定結果	コード
11		二次判定結果	コード
12		1回目の更新／変更等の申請 (申請がない場合は記入不要)	申請日
13	認定調査日		日付
14	審査会開催日		日付
15	認定日		日付
16	一次判定結果		コード
17	二次判定結果		コード
18	資格喪失	資格喪失日	日付
19		死亡日	日付
20	備考		記述

3. 調査の結果

介護保険の保険者数、及び調査票の回収数を以下に示す。回収率(=回収数÷保険者数)は、50%を超えている。

保険者数	調査票A		調査票B	
	回収数	回収率	回収数	回収率
1,587	917件	57.8%	893件	56.3%

※「保険者数」とは、平成22年10月末時点の介護保険の保険者数である。(出典：介護保険事業状況報告、厚生労働省)

以下、「3.1 保険者単位の基礎集計」では保険者単位のデータである調査票Aのデータに基づく集計結果、及び患者単位のデータである調査票Bのデータを保険者単位に集約したデータに基づく集計結果を示す。

「3.2 認定期間の長期化に関する検討」では、申請から認定までの日数の分布を把握し、認定までの日数が45日超を長期化とした。認定までの日数が45日超の集団における基本属性別の構成比、人口規模などの区分ごとに基本属性別の45日超の出現割合を比較した。

「3.3 患者単位の基礎集計」では、調査票Bのデータに基づく集計結果を示す。

「3.4 申請後の生存曲線」では申請から死亡までの日数を算出し、 Kaplan-Meier法(Kaplan-Meier method)により生存曲線を推計する。なお、転出者及び生存者は途中打ち切り例として扱っている。

「3.5 申請後の早期死亡に関する検討」では、申請から死亡までの日数の分布を把握し、死亡までの日数が10日以内を申請後の早期死亡とした。がんの発生部位別に早期死亡者の割合から、がんの発生部位による違いを検討した。

「3.6 認定期間と認定前死亡率等のシミュレーション」では、認定期間(想定)の変化に伴い、認定前死亡率及び認定後受益期間がどのように変化するかをシミュレーションし、認定期間の延長が及ぼす影響について検討した。

3.1 保険者単位の基礎集計

調査票Aでは、申請からの平均日数を記入してもらっている。平均日数の区分別に保険者数を集計した結果を図表 3-1-1～図表 3-1-8 に示す。

図表 3-1-1 申請から調査までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から調査までの日数区分			
		全体	5日以下	5～10日	10日超
第2号被保険者全体の 申請から調査 までの日数区分	全体	588 (100.0%)	163 (27.7%)	295 (50.2%)	130 (22.1%)
	5日以下	33 (5.6%)	28 84.8%	5 15.2%	0 0.0%
	5～10日	217 (36.9%)	83 38.2%	114 52.5%	20 9.2%
	10日超	338 (57.5%)	52 15.4%	176 52.1%	110 32.5%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-2 調査から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の調査から二次判定までの日数区分			
		全体	15日以下	15～20日	20日超
第2号被保険者全体の 調査から二次判定 までの日数区分	全体	588 (100.0%)	132 (22.4%)	175 (29.8%)	281 (47.8%)
	15日以下	66 (11.2%)	50 75.8%	11 16.7%	5 7.6%
	15～20日	153 (26.0%)	44 28.8%	72 47.1%	37 24.2%
	20日超	369 (62.8%)	38 10.3%	92 24.9%	239 64.8%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-3 申請から主治医意見書入手までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から主治医意見書入手までの日数区分			
		全体	15日以下	15～20日	20日超
第2号被保険者全体の 申請から主治医意見書 入手までの日数区分	全体	588 (100.0%)	320 (54.4%)	157 (26.7%)	111 (18.9%)
	15日以下	201 (34.2%)	170 84.6%	18 9.0%	13 6.5%
	15～20日	278 (47.3%)	125 45.0%	107 38.5%	46 16.5%
	20日超	109 (18.5%)	25 22.9%	32 29.4%	52 47.7%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-4 申請から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から二次判定までの日数区分			
		全体	20日以下	20～30日	30日超
第2号被保険者全体の 申請から二次判定 までの日数区分	全体	588 (100.0%)	79 (13.4%)	285 (48.5%)	224 (38.1%)
	20日以下	9 (1.5%)	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%
	20～30日	187 (31.8%)	43 23.0%	117 62.6%	27 14.4%
	30日超	392 (66.7%)	28 7.1%	167 42.6%	197 50.3%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-5 申請から調査まで 及び 調査から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の調査から二次判定までの日数区分			
		全体	15日以下	15～20日	20日超
末期がん患者の 申請から調査 までの日数区分	全体	588 (100.0%)	132 (22.4%)	175 (29.8%)	281 (47.8%)
	5日以下	163 (27.7%)	35 21.5%	34 20.9%	94 57.7%
	5～10日	295 (50.2%)	60 20.3%	98 33.2%	137 46.4%
	10日超	130 (22.1%)	37 28.5%	43 33.1%	50 38.5%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-6 申請から調査まで 及び 申請から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から二次判定までの日数区分			
		全体	20日以下	20～30日	30日超
末期がん患者の 申請から調査 までの日数区分	全体	588 (100.0%)	79 (13.4%)	285 (48.5%)	224 (38.1%)
	5日以下	163 (27.7%)	45 27.6%	70 42.9%	48 29.4%
	5～10日	295 (50.2%)	31 10.5%	170 57.6%	94 31.9%
	10日超	130 (22.1%)	3 2.3%	45 34.6%	82 63.1%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-7 申請から主治医意見書入手まで 及び 申請から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から二次判定までの日数区分			
		全体	20日以下	20～30日	30日超
末期がん患者の 申請から主治医意見書 入手までの日数区分	全体	588 (100.0%)	79 (13.4%)	285 (48.5%)	224 (38.1%)
	15日以下	320 (54.4%)	74 23.1%	191 59.7%	55 17.2%
	15～20日	157 (26.7%)	5 3.2%	76 48.4%	76 48.4%
	20日超	111 (18.9%)	—	18 16.2%	93 83.8%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-8 調査から二次判定まで 及び 申請から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から二次判定までの日数区分			
		全体	20日以下	20～30日	30日超
末期がん患者の 調査から二次判定 までの日数区分	全体	588 (100.0%)	79 (13.4%)	285 (48.5%)	224 (38.1%)
	15日以下	132 (22.4%)	69 52.3%	54 40.9%	9 6.8%
	15～20日	175 (29.8%)	10 5.7%	142 81.1%	23 13.1%
	20日超	281 (47.8%)	0 0.0%	89 31.7%	192 68.3%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

保険者の人口規模別の集計を行う前に、全国の1,750の市区町村の人口分布を把握した。

市区町村別の人口データ(平成22年3月31日の住民基本台帳年齢別人口)から、第2号被保険者の年齢層である40～64歳の人口データを作成した結果を、図表3-1-9～図表3-1-10に示す。

市区町村別の40～64歳人口の平均値は、24,315人であった。中央値は8,914人であり、75%パーセンタイル値が21,802人となっていた。最小値は東京都青ヶ島村の74人、最大値は横浜市の1,245,233人であった。(図表3-1-9)

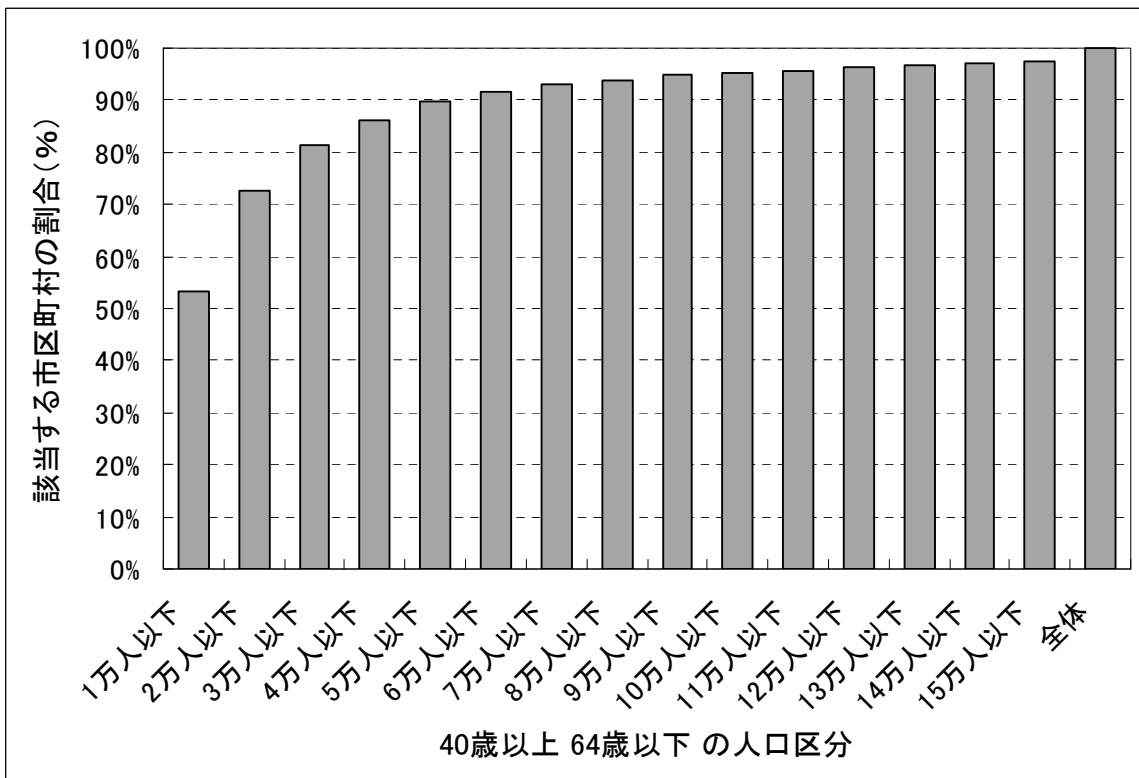
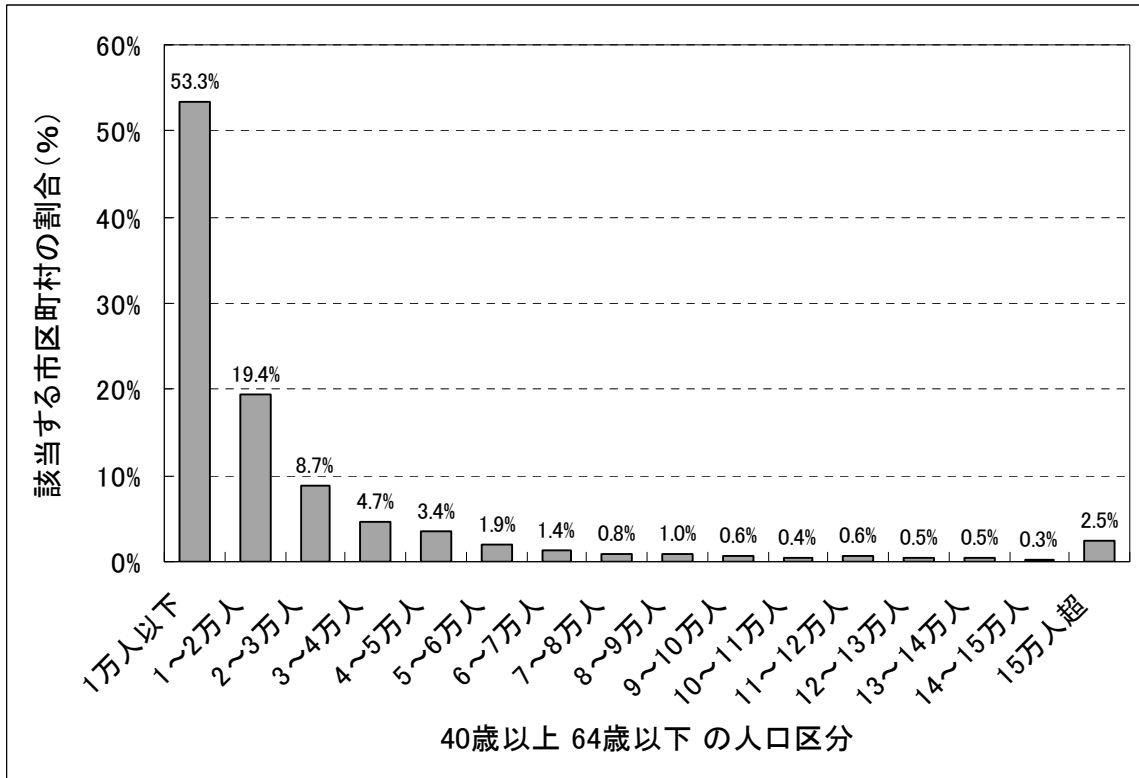
市区町村の約半数は、40～64歳人口が1万人以下であった。2万人以下が約7割、3万人以下が約8割であった。また、5万人超は約1割であった。(図表3-1-10)

図表3-1-9 市区町村別の40～64歳人口の集計結果

市区町村数: 1,750		平均値	標準偏差	変動係数
40歳以上 64歳以下 の人口	男性人口	12,185人	30,582人	2.51
	女性人口	12,130人	30,116人	2.48
	合計人口	24,315人	60,663人	2.49

市区町村数: 1,750		最小値	パーセンタイル値			最大値
			25%値	中央値	75%値	
40歳以上 64歳以下 の人口	男性人口	50人	1,577人	4,422人	10,895人	643,014人
	女性人口	24人	1,517人	4,390人	10,802人	602,219人
	合計人口	74人	3,069人	8,914人	21,802人	1,245,233人

図表 3-1-10 市区町村別の 40～64 歳人口規模の分布



調査票Aの平均日数と40～64歳人口規模で集計した結果を図表3-1-11～図表3-1-13に示す。

末期がん患者の申請から調査までの日数区分については、人口規模が大きくなるほど、「5日以下」の保険者の割合は減少し、「5～10日」の保険者の割合が増加する傾向にある。(図表3-1-11)

図表3-1-11 40～64歳人口規模別・申請から調査までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から調査までの日数区分			
		全体	5日以下	5～10日	10日超
保険者(市区町村等)の 40歳～64歳人口区分	全体	588 (100.0%)	163 (27.7%)	295 (50.2%)	130 (22.1%)
	1万人以下	124 (21.1%)	58 46.8%	42 33.9%	24 19.4%
	1万～2万人	143 (24.3%)	43 30.1%	66 46.2%	34 23.8%
	2万～3万人	88 (15.0%)	27 30.7%	43 48.9%	18 20.5%
	3万～5万人	102 (17.3%)	18 17.6%	60 58.8%	24 23.5%
	5万人超	131 (22.3%)	17 13.0%	84 64.1%	30 22.9%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-12 40～64 歳人口規模別・調査から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の調査から二次判定までの日数区分			
		全体	15日以下	15～20日	20日超
保険者(市区町村等)の 40歳～64歳人口区分	全体	588 (100.0%)	132 (22.4%)	175 (29.8%)	281 (47.8%)
	1万人以下	124 (21.1%)	45 36.3%	27 21.8%	52 41.9%
	1万～2万人	143 (24.3%)	45 31.5%	37 25.9%	61 42.7%
	2万～3万人	88 (15.0%)	14 15.9%	28 31.8%	46 52.3%
	3万～5万人	102 (17.3%)	10 9.8%	38 37.3%	54 52.9%
	5万人超	131 (22.3%)	18 13.7%	45 34.4%	68 51.9%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

図表 3-1-13 40～64 歳人口規模別・申請から二次判定までの日数区分別の保険者数

		末期がん患者の申請から二次判定までの日数区分			
		全体	20日以下	20～30日	30日超
保険者(市区町村等)の 40歳～64歳人口区分	全体	588 (100.0%)	79 (13.4%)	285 (48.5%)	224 (38.1%)
	1万人以下	124 (21.1%)	29 23.4%	58 46.8%	37 29.8%
	1万～2万人	143 (24.3%)	26 18.2%	67 46.9%	50 35.0%
	2万～3万人	88 (15.0%)	10 11.4%	43 48.9%	35 39.8%
	3万～5万人	102 (17.3%)	5 4.9%	52 51.0%	45 44.1%
	5万人超	131 (22.3%)	9 6.9%	65 49.6%	57 43.5%

※括弧“()”内は、有効回答保険者数に対する割合である。括弧が付かない割合は、横の合計が100%となる。

調査票Bのデータに基づき、保険者ごとの申請者数を求めた。40～64歳人口に対する申請者の割合を図表 3-1-14～図表 3-1-16 に示す。

申請者割合が 0.1‰～0.3‰の場合、40～64歳人口の平均は約 52 千人であるのに対して、申請者割合が 0.3‰超の場合は、40～64歳人口の平均が 23 千人と半数以下になっていた。(図表 3-1-15)

図表 3-1-14 申請者数区分別の申請者割合

申請者数区分	保険者数	40～64歳人口		申請者数		申請者割合
		平均	合計	平均	合計	
申請者なし	228	10千人	2,236千人	—	—	—
1～2人	244	13千人	3,274千人	1.4人	339人	0.10‰
3～5人	158	26千人	4,175千人	3.8人	605人	0.14‰
6～10人	95	43千人	4,075千人	7.8人	738人	0.18‰
11人以上	125	128千人	16,006千人	26.0人	3,253人	0.20‰
全体	850	35千人	29,766千人	5.8人	4,935人	0.17‰

図表 3-1-15 申請者割合区分別の 40～64 歳人口

申請者割合区分	保険者数	40～64歳人口		申請者数		申請者割合
		平均	合計	平均	合計	
申請者なし	228	10千人	2,236千人	—	—	—
0.1‰以下	139	33千人	4,555千人	2.3人	321人	0.07‰
0.1‰超 0.2‰以下	245	53千人	13,050千人	8.1人	1,993人	0.15‰
0.2‰超 0.3‰以下	156	52千人	8,080千人	12.4人	1,935人	0.24‰
0.3‰超	82	23千人	1,846千人	8.4人	686人	0.37‰
全体	850	35千人	29,766千人	5.8人	4,935人	0.17‰

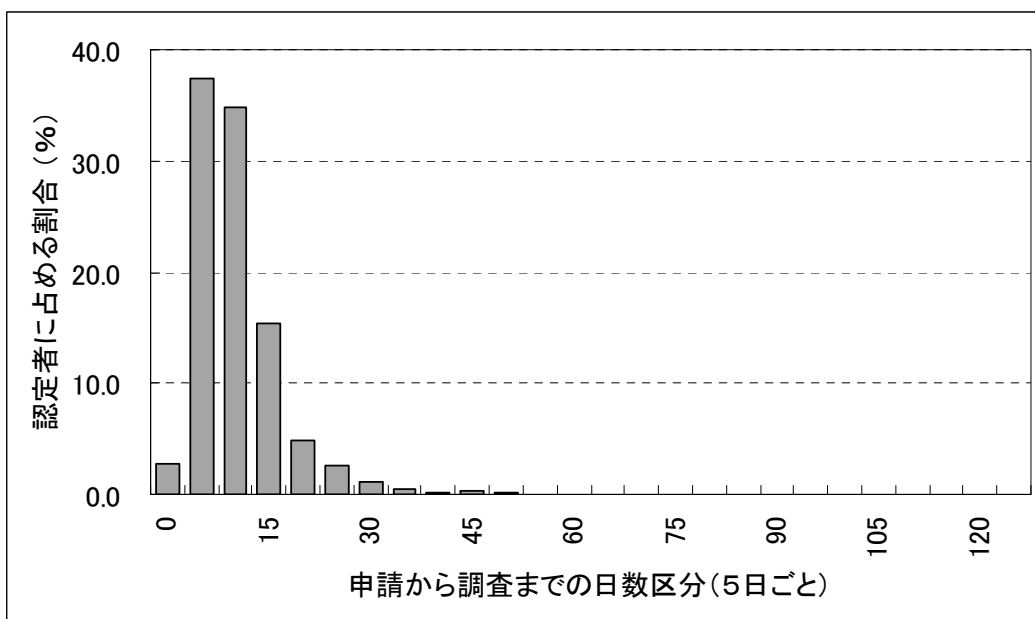
図表 3-1-16 40～64 歳人口規模別の申請者割合

40～64歳人口 人口規模区分	保険者数	40～64歳人口		申請者数		申請者 割合
		平均	合計	平均	合計	
1万人以下	296	4千人	1,291千人	0.6人	175人	0.14‰
1万人超 2万人以下	181	15千人	2,630千人	2.1人	386人	0.15‰
2万人超 3万人以下	104	24千人	2,521千人	3.6人	379人	0.15‰
3万人超 5万人以下	115	39千人	4,467千人	6.1人	698人	0.16‰
5万人超	154	122千人	18,858千人	21.4人	3,297人	0.17‰
全体	850	35千人	29,766千人	5.8人	4,935人	0.17‰

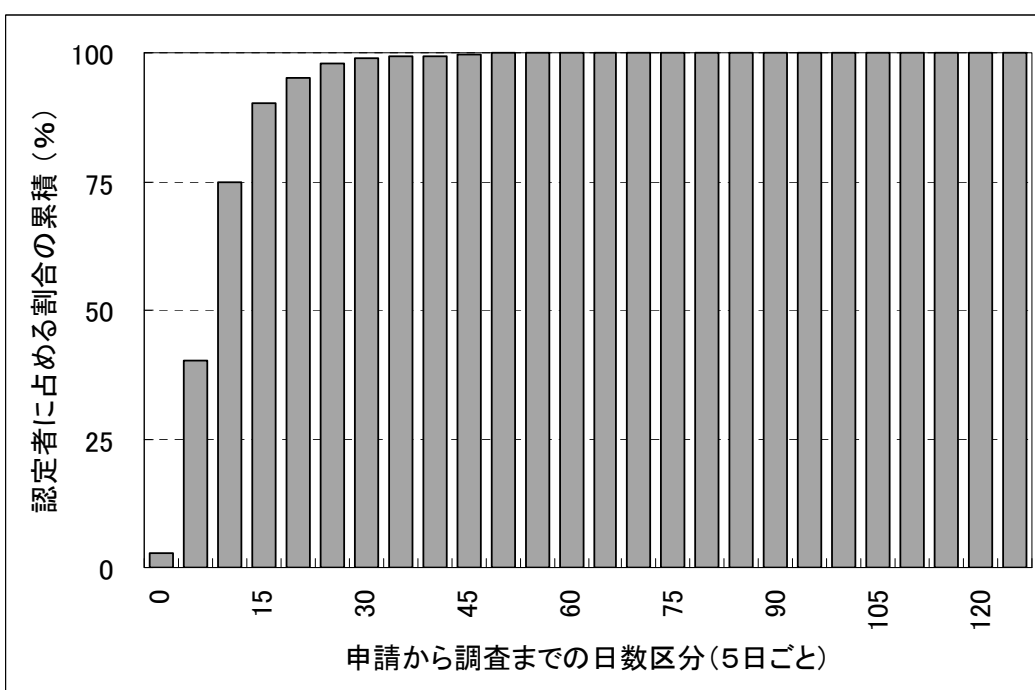
3.2 認定期間の長期化に関する検討

申請日と認定日のデータがある 4,461 人の末期がん患者のデータに基づいて、認定期間の長期化に関する検討を行った。申請から調査までの日数の分布を図表 3-2-1、図表 3-2-2 に示す。

図表 3-2-1 申請から調査までの日数別の度数分布

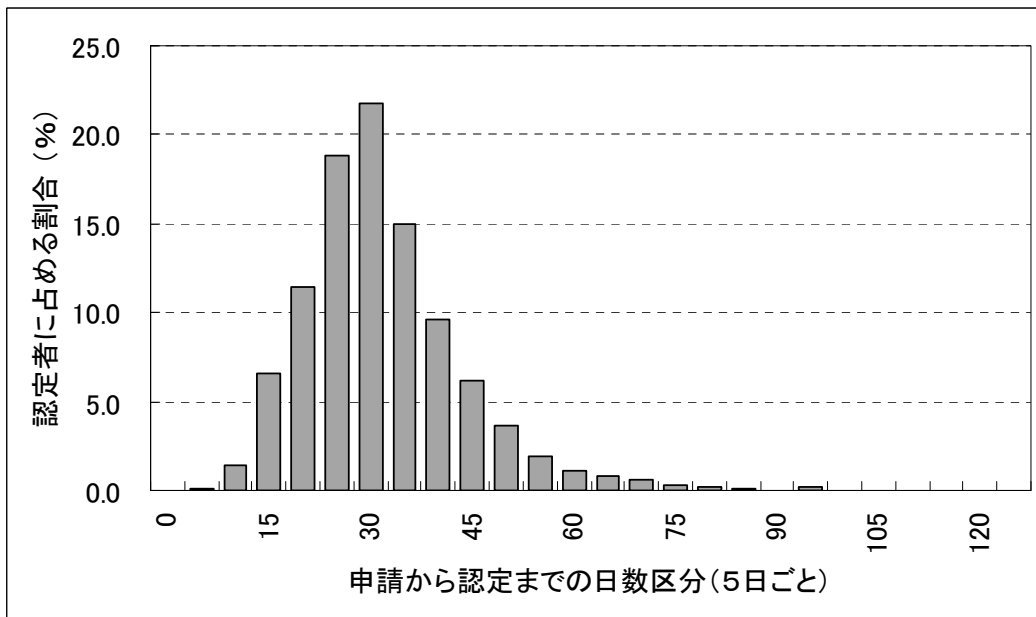


図表 3-2-2 申請から調査までの日数別の累積度数分布

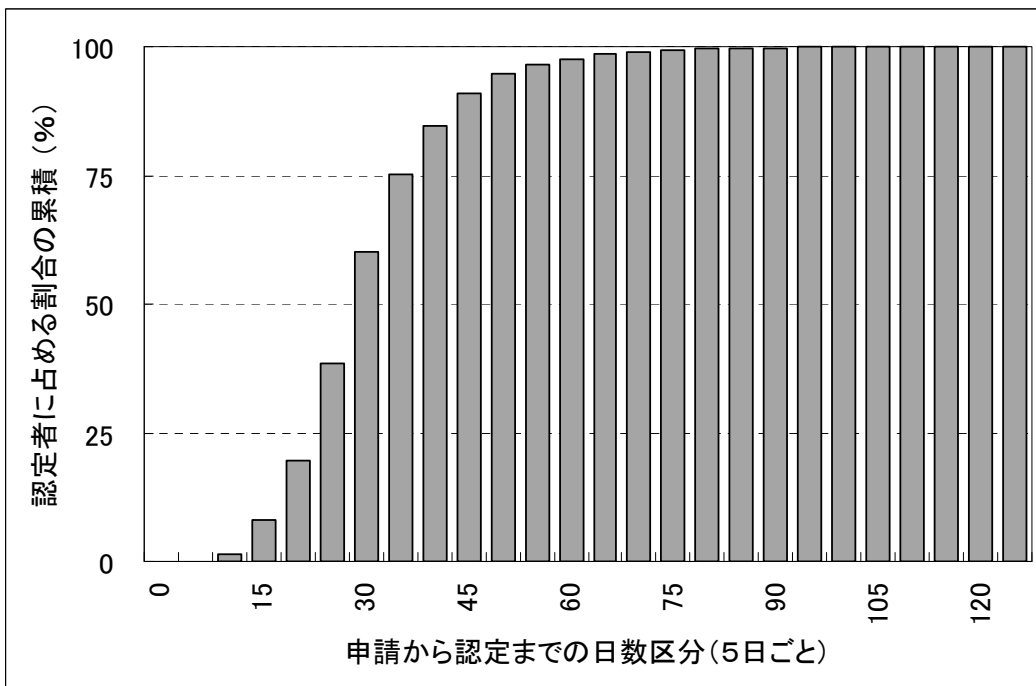


申請から認定までの日数の分布を図表 3-2-3、図表 3-2-4 に示す。

図表 3-2-3 申請から認定までの日数別の度数分布



図表 3-2-4 申請から認定までの日数別の累積度数分布



申請から認定までの日数が 45 日超となるのは 404 人であり、全体 4,461 人の 9.1%であった。45 日超の性別の構成比を図表 3-2-5 に、年齢別の構成比を図表 3-2-6 に示す。45 日超の群において、女性の割合が若干高くなっていた。

図表 3-2-5 認定まで 45 日超の性別の構成比

	該当者数	性別の構成比	
		男性	女性
申請から認定までの日数が45日超	404人	46.0%	54.0%
全体	4,461人	49.4%	50.6%

図表 3-2-6 認定まで 45 日超の年齢別の構成比

	該当者数	年齢別の構成比		
		40代	50代	60代
申請から認定までの日数が45日超	404人	11.9%	38.6%	49.5%
全体	4,461人	12.0%	37.3%	50.6%

申請日と認定日のデータがある 4,461 の末期がん患者のデータを、保険者単位で整理して集計した結果を図表 3-2-7～図表 3-2-9 に示す。

6 か月間における末期がん患者の認定者数（第 2 号被保険者のみ）が 30～49 人の保険者で、認定まで 45 日超の割合が 5.8%と最も低くなっていた。（図表 3-2-7）

認定まで 45 日超の人数が多い階級ほど、認定者に占める 45 日超の割合が高くなる傾向があり、男性、女性、40 代、50 代、60 代に限っても同じ傾向がみられた。（図表 3-2-8）

40～64 歳人口規模別でみると、1 万人以下の保険者で 5.7%と最も低くなっており、2 万人超 3 万人以下の保険者で 11.2%と最も高くなっていた。（図表 3-2-9）

図表 3-2-7 認定者数階級別の保険者数及び 45 日超の割合

認定者数階級	保険者数	延べ認定者数		45日超の割合					
		全体	45日超	全体	男性	女性	40代	50代	60代
1～9人	473	1,507人	131人	8.7%	7.4%	10.1%	8.6%	8.9%	8.5%
10～19人	64	831人	76人	9.1%	9.7%	8.6%	8.2%	9.3%	9.3%
20～29人	33	764人	75人	9.8%	10.9%	8.8%	5.7%	11.0%	10.2%
30～49人	15	549人	32人	5.8%	5.2%	6.4%	4.4%	6.8%	5.4%
50人以上	13	810人	90人	11.1%	9.2%	12.7%	17.6%	10.7%	10.0%
全体	598	4,461人	404人	9.1%	8.4%	9.7%	8.9%	9.4%	8.9%

図表 3-2-8 認定まで 45 日超の人数階級別の保険者数及び 45 日超の割合

45日超人数階級	保険者数	延べ認定者数		45日超の割合					
		全体	45日超	全体	男性	女性	40代	50代	60代
0人	406	1,537人	0人	0.0%	—	—	—	—	—
1人	108	1,061人	108人	10.2%	9.6%	10.7%	8.8%	11.7%	9.4%
2～4人	68	1,115人	168人	15.1%	14.5%	15.7%	11.3%	15.8%	15.5%
5人以上	16	748人	128人	17.1%	15.7%	18.3%	23.9%	16.2%	16.2%
全体	598	4,461人	404人	9.1%	8.4%	9.7%	8.9%	9.4%	8.9%

図表 3-2-9 40～64 歳人口規模別の保険者数及び 45 日超の割合

人口規模	保険者数	延べ認定者数		45日超の割合					
		全体	45日超	全体	男性	女性	40代	50代	60代
1万人以下	103	159人	9人	5.7%	4.8%	6.7%	9.5%	1.6%	8.0%
1万人超 2万人以下	149	365人	30人	8.2%	6.6%	10.1%	13.5%	7.4%	7.8%
2万人超 3万人以下	95	347人	39人	11.2%	12.2%	10.3%	10.3%	12.5%	10.5%
3万人超 5万人以下	111	641人	63人	9.8%	10.1%	9.6%	6.5%	10.3%	10.3%
5万人超	140	2,949人	263人	8.9%	8.1%	9.7%	8.8%	9.5%	8.5%
全体	598	4,461人	404人	9.1%	8.4%	9.7%	8.9%	9.4%	8.9%

3.3 患者単位の基礎集計

調査票Bのデータに基づき、患者単位の集計を行った。図表 3-3-1～図表 3-3-3 に申請者数・死亡者数等の集計結果を示す。

図表 3-3-1 性別の申請者数・死亡者数等

性別	申請者数	年齢	死亡者数	生存者数	転出者数
男性	2,324人	58.4歳	1,620人 (69.7%)	676人 (29.1%)	28人 (1.2%)
女性	2,370人	57.0歳	1,522人 (64.2%)	831人 (35.1%)	17人 (0.7%)
全体	4,694人	57.7歳	3,142人 (66.9%)	1,507人 (32.1%)	45人 (1.0%)

※括弧“()”内の数値は、申請者数に対する割合である。

図表 3-3-2 年齢階級別の申請者数・死亡者数等

性別	申請者数	年齢	死亡者数	生存者数	転出者数
40～44歳	216人	42.2歳	154人 (71.3%)	61人 (28.2%)	1人 (0.5%)
45～49歳	347人	47.2歳	223人 (64.3%)	119人 (34.3%)	5人 (1.4%)
50～54歳	539人	52.2歳	349人 (64.7%)	186人 (34.5%)	4人 (0.7%)
55～59歳	1,201人	57.3歳	808人 (67.3%)	378人 (31.5%)	15人 (1.2%)
60～64歳	2,391人	62.0歳	1,608人 (67.3%)	763人 (31.9%)	20人 (0.8%)
全体	4,694人	57.7歳	3,142人 (66.9%)	1,507人 (32.1%)	45人 (1.0%)

※括弧“()”内の数値は、申請者数に対する割合である。

図表 3-3-3 がん発生部位別の申請者数・死亡者数等

がん発生部位 (申請者数上位10)	申請者数	年齢	死亡者数	生存者数	転出者数
肺がん	777人	58.5歳	515人 (66.3%)	255人 (32.8%)	7人 (0.9%)
乳がん	543人	56.4歳	314人 (57.8%)	227人 (41.8%)	2人 (0.4%)
大腸がん	502人	57.7歳	359人 (71.5%)	137人 (27.3%)	6人 (1.2%)
胃がん	485人	57.6歳	367人 (75.7%)	109人 (22.5%)	9人 (1.9%)
膵臓がん	272人	59.2歳	205人 (75.4%)	62人 (22.8%)	5人 (1.8%)
脳腫瘍など	199人	55.7歳	75人 (37.7%)	118人 (59.3%)	6人 (3.0%)
子宮がん	175人	55.6歳	121人 (69.1%)	54人 (30.9%)	0人 (0.0%)
肝臓がん	162人	58.7歳	116人 (71.6%)	45人 (27.8%)	1人 (0.6%)
食道がん	149人	59.6歳	120人 (80.5%)	28人 (18.8%)	1人 (0.7%)
血液のがん	131人	58.4歳	62人 (47.3%)	68人 (51.9%)	1人 (0.8%)
卵巣がん	131人	56.4歳	97人 (74.0%)	34人 (26.0%)	0人 (0.0%)
その他のがん	629人	57.9歳	419人 (66.6%)	204人 (32.4%)	6人 (1.0%)
不明	539人	57.6歳	372人 (69.0%)	166人 (30.8%)	1人 (0.2%)
全体	4,694人	57.7歳	3,142人 (66.9%)	1,507人 (32.1%)	45人 (1.0%)

※括弧“()”内の数値は、申請者数に対する割合である。

認定前に死亡した申請者を除いて、認定を受けた末期がん患者に関する申請からの日数の集計結果を図表 3-3-4～図表 3-3-8 に示す。

図表 3-3-4 性別の申請からの日数

性別	認定者数	年齢	申請からの日数			要介護度 4・5割合
			調査	審査会	認定	
男性	1,851人	58.4歳	8.2日 (6.7)	28.7日 (11.4)	29.2日 (11.4)	34.9%
女性	1,919人	56.9歳	8.3日 (6.9)	29.1日 (11.7)	29.5日 (11.8)	32.9%
全体	3,770人	57.7歳	8.3日 (6.8)	28.9日 (11.6)	29.4日 (11.6)	33.9%

※括弧“()”内の数値は、標準偏差である。

図表 3-3-5 年齢階級別の申請からの日数

年齢階級	認定者数	年齢	申請からの日数			要介護度 4・5割合
			調査	審査会	認定	
40～44歳	169人	42.2歳	7.7日 (7.2)	27.5日 (12.3)	28.0日 (12.3)	33.1%
45～49歳	289人	47.2歳	8.0日 (7.0)	27.9日 (12.0)	28.5日 (12.1)	33.6%
50～54歳	443人	52.3歳	7.9日 (5.8)	27.9日 (10.8)	28.3日 (10.8)	37.5%
55～59歳	961人	57.3歳	8.5日 (7.4)	29.5日 (12.3)	29.9日 (12.3)	33.4%
60～64歳	1,908人	62.0歳	8.3日 (6.7)	29.1日 (11.2)	29.6日 (11.2)	33.4%
全体	3,770人	57.7歳	8.3日 (6.8)	28.9日 (11.6)	29.4日 (11.6)	33.9%

※括弧“()”内の数値は、標準偏差である。

図表 3-3-6 がん発生部位別の申請からの日数

がん発生部位 (申請者数上位10)	認定者数	年齢	申請からの日数			要介護度 4・5割合
			調査	審査会	認定	
肺がん	648人	58.4歳	8.0日 (6.5)	28.7日 (11.0)	29.2日 (11.1)	31.3%
乳がん	448人	56.3歳	8.8日 (6.9)	30.2日 (12.4)	30.6日 (12.3)	32.8%
大腸がん	391人	57.7歳	8.3日 (6.6)	28.2日 (10.8)	28.6日 (10.8)	37.6%
胃がん	371人	57.6歳	7.7日 (6.4)	27.0日 (11.0)	27.5日 (11.0)	30.7%
膵臓がん	206人	59.4歳	8.7日 (8.4)	27.9日 (12.2)	28.3日 (12.0)	23.3%
脳腫瘍など	189人	55.9歳	8.7日 (6.3)	31.3日 (12.2)	31.8日 (12.4)	49.7%
子宮がん	144人	55.9歳	7.8日 (6.5)	27.8日 (12.0)	28.3日 (12.1)	25.0%
肝臓がん	117人	58.8歳	7.5日 (6.8)	28.0日 (11.0)	28.5日 (11.1)	31.6%
食道がん	113人	59.6歳	8.8日 (9.1)	27.6日 (11.1)	28.3日 (11.5)	38.9%
血液のがん	119人	58.3歳	9.3日 (7.7)	30.9日 (13.0)	31.3日 (13.1)	37.0%
卵巣がん	105人	56.7歳	7.7日 (7.0)	29.6日 (11.3)	30.1日 (11.3)	33.3%
その他のがん	542人	58.1歳	8.1日 (6.2)	28.2日 (11.0)	28.8日 (11.0)	34.9%
不明	377人	57.1歳	8.5日 (7.0)	30.6日 (12.3)	31.2日 (12.3)	37.1%
全体	3,770人	57.7歳	8.3日 (6.8)	28.9日 (11.6)	29.4日 (11.6)	33.9%

※括弧“()”内の数値は、標準偏差である。

図表 3-3-7 要介護度別の申請からの日数

要介護度別	認定者数	年齢	申請からの日数			認定まで 20日以内割合
			調査	審査会	認定	
非該当	17人	58.2歳	11.5日 (7.4)	39.2日 (13.9)	40.5日 (14.3)	5.9%
要支援1	145人	57.9歳	9.7日 (7.4)	30.8日 (11.1)	31.3日 (11.1)	11.7%
要支援2	187人	57.3歳	9.4日 (6.6)	30.6日 (9.6)	31.3日 (9.7)	11.8%
要介護1	677人	57.8歳	8.5日 (7.5)	30.2日 (12.5)	30.8日 (12.6)	16.7%
要介護2	878人	57.6歳	8.1日 (6.8)	28.5日 (11.0)	29.0日 (11.0)	20.5%
要介護3	588人	57.8歳	8.3日 (6.7)	29.0日 (11.8)	29.4日 (11.7)	20.6%
要介護4	679人	57.3歳	8.0日 (6.3)	28.4日 (12.0)	28.8日 (11.9)	22.5%
要介護5	599人	57.9歳	7.8日 (6.6)	27.1日 (10.8)	27.5日 (10.8)	26.0%
全体	3,770人	57.7歳	8.3日 (6.8)	28.9日 (11.6)	29.4日 (11.6)	33.9%

※括弧“()”内の数値は、標準偏差である。

図表 3-3-8 資格区分別の申請からの日数

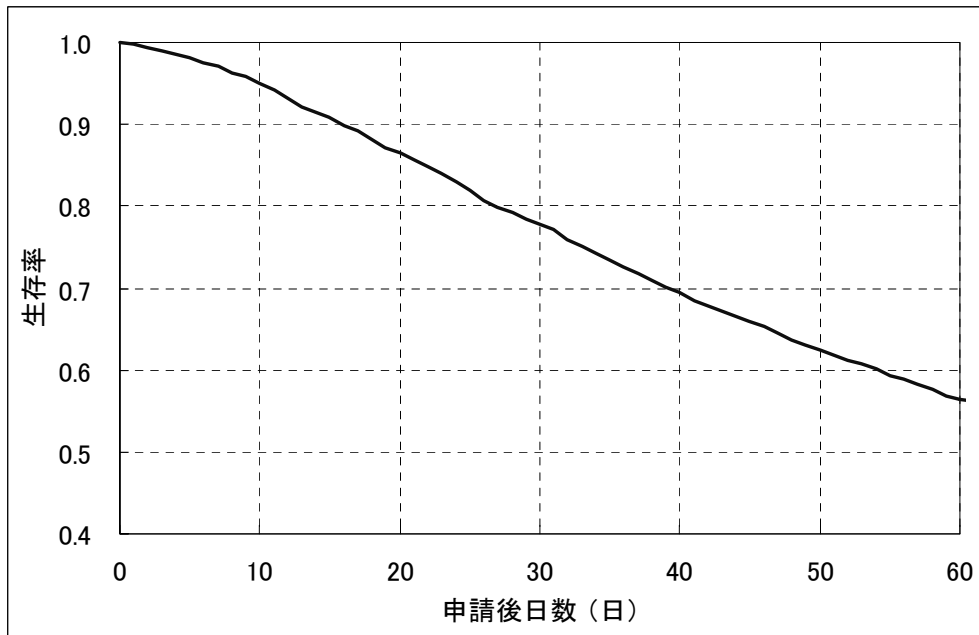
資格区分別	認定者数	年齢	申請からの日数			要介護度 4・5割合
			調査	審査会	認定	
生存	1,507人	57.7歳	9.1日 (7.5)	31.4日 (12.4)	31.9日 (12.4)	28.7%
転出	45人	57.7歳	7.1日 (5.3)	29.6日 (11.4)	30.0日 (11.5)	33.3%
死亡	2,218人	57.6歳	7.7日 (6.3)	27.2日 (10.6)	27.6日 (10.7)	37.4%
全体	3,770人	57.7歳	8.3日 (6.8)	28.9日 (11.6)	29.4日 (11.6)	33.9%

※括弧“()”内の数値は、標準偏差である。

3.4 申請後の生存曲線

申請から死亡までの日数を算出し、 Kaplan-Meier 法 (Kaplan-Meier method) により生存曲線を推計した結果を以下に示す。なお、転出者及び生存者は途中打ち切り例として扱っている。

図表 3-4-1 申請後の生存曲線



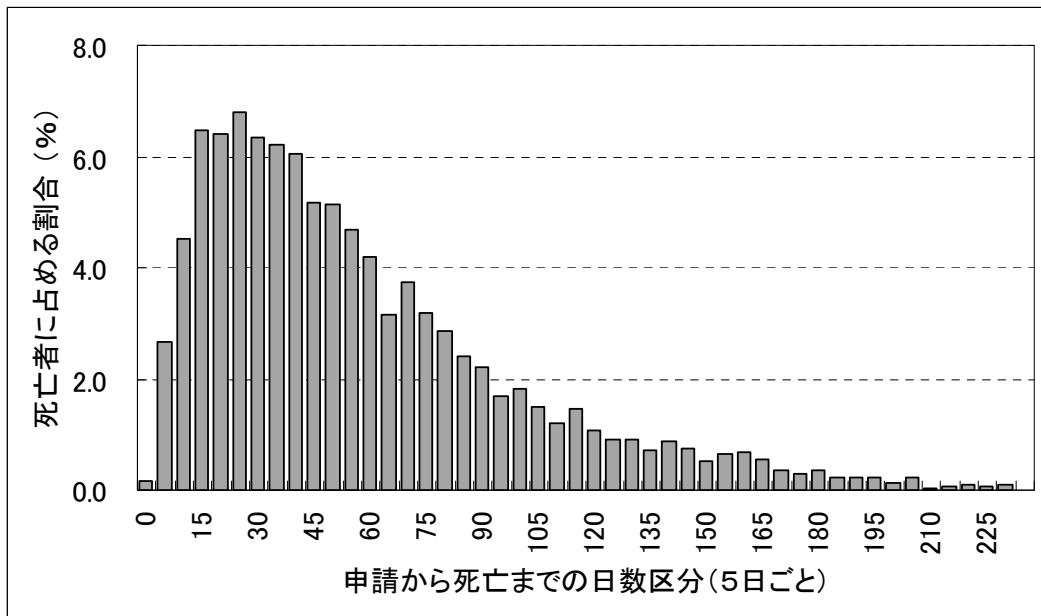
図表 3-4-2 申請後 10 日までの生存率

申請後 経過日数	生存率	標準誤差	95%信頼区間	
			下限	上限
申請日	0.999	0.000	0.998	1.000
1日後	0.997	0.001	0.996	0.999
2日後	0.994	0.001	0.992	0.996
3日後	0.990	0.001	0.987	0.993
4日後	0.986	0.002	0.983	0.990
5日後	0.981	0.002	0.977	0.985
6日後	0.976	0.002	0.972	0.980
7日後	0.970	0.003	0.965	0.975
8日後	0.963	0.003	0.957	0.968
9日後	0.958	0.003	0.952	0.963
10日後	0.951	0.003	0.945	0.957

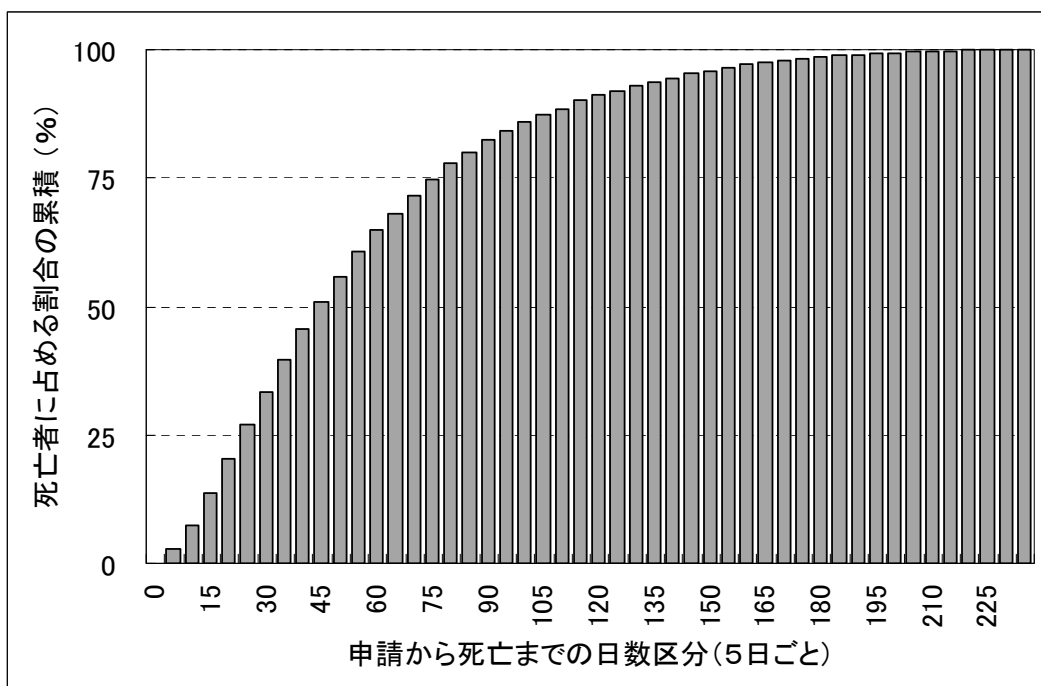
3.5 申請後の早期死亡に関する検討

死亡者のデータに基づき、申請後の早期死亡に関する検討を行った。申請から死亡までの日数の分布を図表 3-5-1、図表 3-5-2 に示す。

図表 3-5-1 申請から死亡までの日数別の度数分布



図表 3-5-2 申請から死亡までの日数別の累積度数分布



申請から10日以内に死亡したのは、死亡者全体の7.4%であった。がん発生部位別に10日以内の死亡者の割合を比較したものを図表3-5-3に示す。10日以内の死亡者の割合(E)が最も大きいのが「⑧肝臓がん」の12.9%であった。

図表 3-5-3 がん発生部位別の申請から10日以内の死亡者の割合

がん発生部位 (申請者数上位10)	(A)申請者数	(B)死亡者数	(C)=(B)÷(A)	(D)10日以内 死亡者数	(E)=(D)÷(B)
①肺がん	781人	516人	66.1%	24人	4.7%
②乳がん	543人	314人	57.8%	24人	7.6%
③大腸がん	502人	359人	71.5%	31人	8.6%
④胃がん	485人	367人	75.7%	22人	6.0%
⑤膵臓がん	272人	205人	75.4%	17人	8.3%
⑥脳腫瘍など	199人	75人	37.7%	1人	1.3%
⑦子宮がん	176人	121人	68.8%	4人	3.3%
⑧肝臓がん	163人	116人	71.2%	15人	12.9%
⑨食道がん	149人	120人	80.5%	5人	4.2%
⑩血液のがん	131人	62人	47.3%	4人	6.5%
⑩卵巣がん	131人	97人	74.0%	3人	3.1%

3.6 認定期間と認定前死亡率等のシミュレーション

死亡者のデータから、申請から認定までの日数が一定であるとして、認定前死亡率及び認定後受益期間のシミュレーションを行った。図表 3-6-1 に 5 通りの想定日数での認定前死亡率及び認定後受益期間のシミュレーション結果を示す。

なお、申請から認定までの一定の日数を「想定日数」と呼んでいる。また、認定前死亡率及び認定後受益期間の定義は以下の通りとする。

「認定前死亡率」＝「想定日数以内の死亡者数」÷「全体の死亡者数」

「認定後受益期間」＝「申請から死亡までの日数」－「想定日数」

図表 3-6-1 認定前死亡率及び認定後受益期間のシミュレーション結果

申請から認定までの 想定日数	認定前死亡率	認定後受益期間		
		①平均値	②中央値	対想定日数比 ＝①÷想定日数
10 日	7.3%	49.4 日	38 日	4.9
15 日	13.8%	47.9 日	36 日	3.2
20 日	20.2%	46.5 日	35 日	2.3
25 日	27.0%	45.6 日	34 日	1.8
30 日	33.3%	44.6 日	34 日	1.5

※「認定後受益期間」は、認定後に死亡した者で集計している。

また、参考として、申請者のデータに基づき、申請から二次判定までの日数(保険者単位で集計)別の認定前死亡者等の割合を図表 3-6-2 に示す。

申請から二次判定までの日数が長い階級ほど、認定前死亡者の割合が高くなっているものの、生存者数の割合も高くなっていることに留意しなければならない。

図表 3-6-2 申請から二次判定までの日数別の申請者数・死亡者数等

申請から二次判定までの日数 (保険者単位の平均値)	申請者数	年齢	死亡者数		生存者数	転出者数
			認定前	認定後		
20日以下	285人	57.6歳	35人 (12.3%)	165人 (57.9%)	83人 (29.1%)	2人 (0.7%)
20～30日	2,055人	57.6歳	371人 (18.1%)	1,034人 (50.3%)	641人 (31.2%)	9人 (0.4%)
30日超	2,340人	57.8歳	504人 (21.5%)	1,019人 (43.5%)	783人 (33.5%)	34人 (1.5%)
全体	4,680人	57.7歳	910人 (19.4%)	2,218人 (47.4%)	1,507人 (32.2%)	45人 (1.0%)

(注) 認定前からサービスを受けることができるので、認定前死亡者がサービスを受けていないとは限らない。

4. まとめ

今回の調査は、平成22年5月から10月までの6ヵ月間に新規申請のあった末期がんの第2号被保険者について、介護保険の保険者に対して要介護認定の実施状況を調査したものである。

調査の結果、申請から二次判定までの日数の平均は28.9日であり、30日を超えている保険者も約4割あった。申請から10日以内に調査を実施している保険者は約8割であり、調査から二次判定までに日数を要していた。また、申請者の申請後の状況については、申請後15日で約1割の方が、申請後25日で約2割の方が、申請後60日で約4割の方が亡くなっていた。その亡くなった方のうち、約2割は二次判定前に亡くなっていた。

こうした集計結果から、末期がん等の方については、各保険者において申請後迅速な調査を実施しているものの、申請から認定までは依然として一定の日数を要していた。

末期がんの第2号被保険者の方は、要介護認定の申請から約2ヵ月で4割程度が亡くなっており、これらの方に迅速かつ適切な介護サービスが提供できるよう、迅速な要介護認定に向けた更なる取り組みが必要である。

以下、今回の分析結果の詳細について述べる。

- 保険者単位の平均日数データを用いて、申請から二次判定までの平均日数が30日超となる保険者の割合を40～64歳人口規模別にみると、40～64歳人口規模が大きくなるほど平均日数が30日超の保険者の割合が高くなる傾向があった。

保険者の40～64歳人口が多い保険者では、末期がんを含む被保険者からの要介護認定の申請数も多いものと考えられる。申請数が多いために二次判定までの平均日数が長くなるのであれば、手続きの中の早期の段階でトライアージを実施し、迅速な要介護認定が必要と思われる末期がん患者に対して優先的に要介護認定の手続きを進めることで改善を図ることができると考えられる。

- 調査期間中に死亡した方の分析では、45日で約半数が亡くなるなど、申請から早期に亡くなる例が多かった。

末期がん患者については、十分な時間的余裕を持って要介護認定の申請を開始することができていないおそれがある。この点については入院中の段階から認定の準備を開始することで改善を図ることができると考えられる。具体的な案としては、末期がん患者について入院中に要介護認定の申請が円滑に行うことができるための体制を整備し、退院時から継続的な医療や介護サービスを受けることができる退院計画の作成と実行を促すために、入院医療機関および在宅の診療所等にインセンティブを与えることができる新たな仕組みを構築することが考えられる。

○ 申請から認定までの日数が45日超となるケースが、全体の9.1%であった。

迅速な認定が求められる末期がん患者からの申請に対して、認定までの日数が45日超となるケースが1割程度になるのは何故なのか。どのような保険者で45日超のケースが発生しやすいかについては、今回の調査データからは明らかに出来なかった。

こうした問題の解決に向けては、保険者における要介護認定のケースマネジメントの状況についての調査を行い、体制を改善するための方策を検討することが重要と考えられる。

ただし、介護認定を受けていなくても、緊急性などに応じた判断に従い医療・介護サービスが実態としては提供されているという情報もある。このため、医療・介護の両面から末期がん患者支援の実態を示すデータを早急に入手し、分析することが重要と考えられる。

○ 末期がん患者が要介護認定を申請した後、早期に死亡する者の割合をがん発生部位別にみたところ、「肝臓がん」で最も割合が高くなっていた。最も割合が低いのは「脳腫瘍など」であった。

「脳腫瘍など」で申請後の早期死亡割合が低くなっていたのは、疾病に伴って身体症状が発現するため、末期がんと診断されてから早めに要介護認定を申請しているからと考えられる。一方、身体機能の低下が顕著ではない「肝臓がん」や「膵臓がん」では、末期がんと診断されてから要介護認定の必要性を認識するまでの期間が長くなるため、申請後の早期死亡割合が高くなっていたものと考えられる。

実際に、「脳腫瘍など」では要介護度4・5の割合が最も高くなっており、「膵臓がん」で最も低くなっている。そのため、「肝臓がん」や「膵臓がん」などの末期がん患者に対しては、身体機能の低下がみられない段階から早めの要介護認定をうながす取り組みが改善につながると考えられる。

- 申請から認定までの日数が一定であると想定し、認定までの日数に応じて「認定前死亡率」及び「認定後受益期間」がどのように変化するかをシミュレーションした。その結果、「認定前死亡率」を削減するためには、認定までの期間を大幅に短縮することが必要であることが明らかになった。

すでに述べたように、末期がんと診断されてから早めの申請をうながすことも重要であるが、申請されてから認定までの期間を短縮することも重要であると考えられる。申請者の認定前死亡率を 10%以下にするには、申請から 10 日前後で二次判定を行う必要がある。認定がないために退院ができない、あるいは在宅で十分な医療や介護サービスを受けられないといった事態の発生を防ぐためには、末期がん患者についての要介護認定申請から認定までの期間に関する明確な目標を定めて保険者が手続きを行い、目標の達成状況を意識した業務改善の取り組み等を検討すべきと考えられる。

平成22年度老人保健健康増進等事業「高齢者の心身状態の適正な評価方法の開発に関する調査研究」

末期がん患者の認定状況調査（調査票A）

識別コード： _____

※本調査は第2号被保険者を対象とした調査です。第2号被保険者について、下記の設問にご回答ください。

保険者名	市町村名（保険者名と異なる場合のみ記入）
------	----------------------

新規申請の末期がんの方に対する要介護認定調査に関する以下の内容にお答えください。（H22年5月～10月末日までに申請されたもの）

- (1) 末期がんの方に対する申請日から調査実施日までの平均日数

	日
--	---

（小数点第2位以下を四捨五入してください）
- (2) 末期がんの方に対する申請日から主治医意見書入手までの平均日数

	日
--	---

（小数点第2位以下を四捨五入してください）
- (3) 末期がんの方に対する申請日から二次判定日までの平均日数

	日
--	---

（小数点第2位以下を四捨五入してください）

(4) 申請者が迅速な認定調査を必要とする「末期がん」であるかどうかをどのように把握しているか、把握方法を具体的ににご記入ください。

新規申請者（末期がんの方を含む）全体について、要介護認定調査に関する以下の内容にお答えください。（H22年5月～10月末日までに申請されたもの）

- (5) 申請日から調査実施日までの平均日数

	日
--	---

（小数点第2位以下を四捨五入してください）
- (6) 申請日から主治医意見書入手までの平均日数

	日
--	---

（小数点第2位以下を四捨五入してください）
- (7) 申請日から二次判定日までの平均日数

	日
--	---

（小数点第2位以下を四捨五入してください）

※本調査票（調査票A）のほかに、調査票Bがあります。ご記入の上、本調査票（調査票A）と調査票Bをご提出ください。

末期がん患者の認定状況調査（調査票B）

※本調査は第2号被保険者を対象とした調査です。第2号被保険者について、下記の設問にご回答ください。

科目

枚

※同枚中の同枚目かを必ずご記入ください。

保険者名	市町村名(保険者名と異なる場合のみ記入)
------	----------------------

新規申請の末期がんの方の認定実施状況をご記入ください。(調査期間：H22年4月～10月末までに申請があったもの)

(注1) 被保険者の方(第2号被保険者)ごとに、1つの行にまとめてご記入ください。

(注2) 必要枚数をコピーしてからご記入ください。

識別コード:

No.	年齢	性別	基礎疾患	新規の申請				1回目の更新/変更等の申請(申請がない場合は記入不要)				資格喪失日	死亡日	備考 (2回目以降の更新/変更の申請等)			
				申請日	認定調査日	審査会開催日	認定日	認定有効期間開始年月日	認定有効期間終了年月日	一次判定結果	二次判定結果				申請日	認定調査日	審査会開催日
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	

No.	年齢	性別	基礎疾患	新規の申請				1回目の更新/変更等の申請(申請がない場合は記入不要)				資格喪失日	死亡日	備考 (3回目以降の更新/変更の申請等)							
				申請日	認定調査日	審査会開催日	認定日	認定有効期間開始年月日	認定有効期間終了年月日	一次判定結果	二次判定結果				申請日	認定調査日	審査会開催日	認定日	一次判定結果	二次判定結果	
例	62	男	脳腫瘍	2010/5/1	2010/5/1	2010/5/7	2010/5/10	2010/5/10	2010/5/10	2010/11/30	要介護2	要介護2	2010/6/15	2010/6/17	2010/6/22	2010/6/25	要介護3	要介護3	2010/9/29	2010/9/28	9月に3回目の更新申請を行い、結果は要介護であった。

※本調査票(調査票B)のほかに、調査票Aがあります。ご記入の上、本調査票(調査票B)と調査票Aをご提出ください。

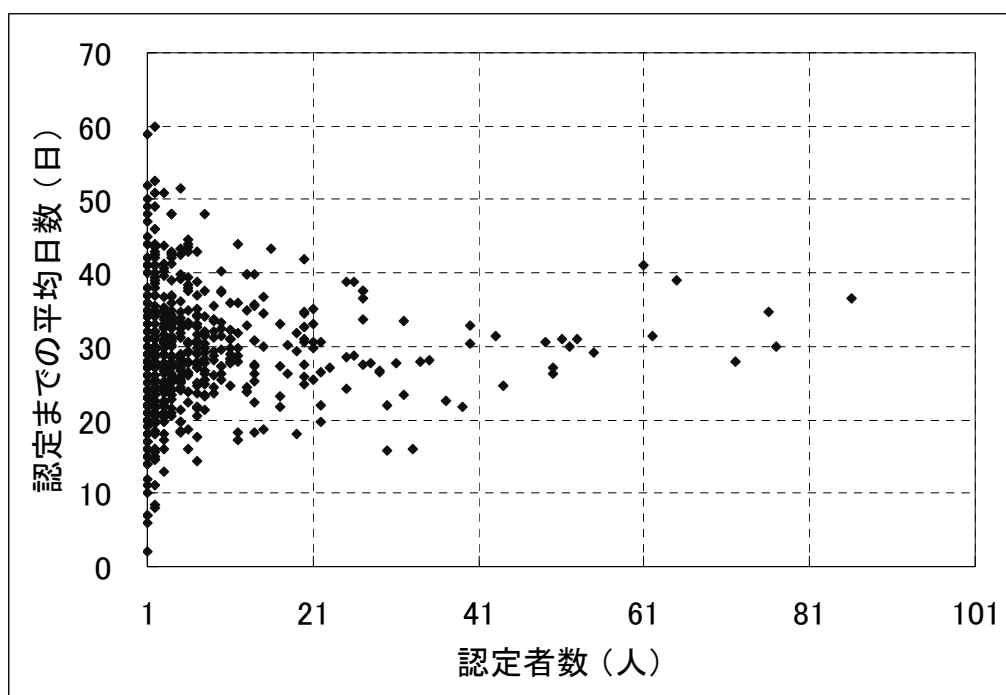
附録B. 認定期間のバラツキ

調査票Bから、保険者ごとの認定者数、申請から認定までの平均日数及び最大日数を求め、認定期間のバラツキを散布図で視覚的に把握する。認定者数と認定までの平均日数の散布図を図表 B-1 に、認定者数と認定までの最大日数の散布図を図表 B-2 に示す。また、参考として認定までの平均日数と最大日数の散布図を図表 B-3 に示す。

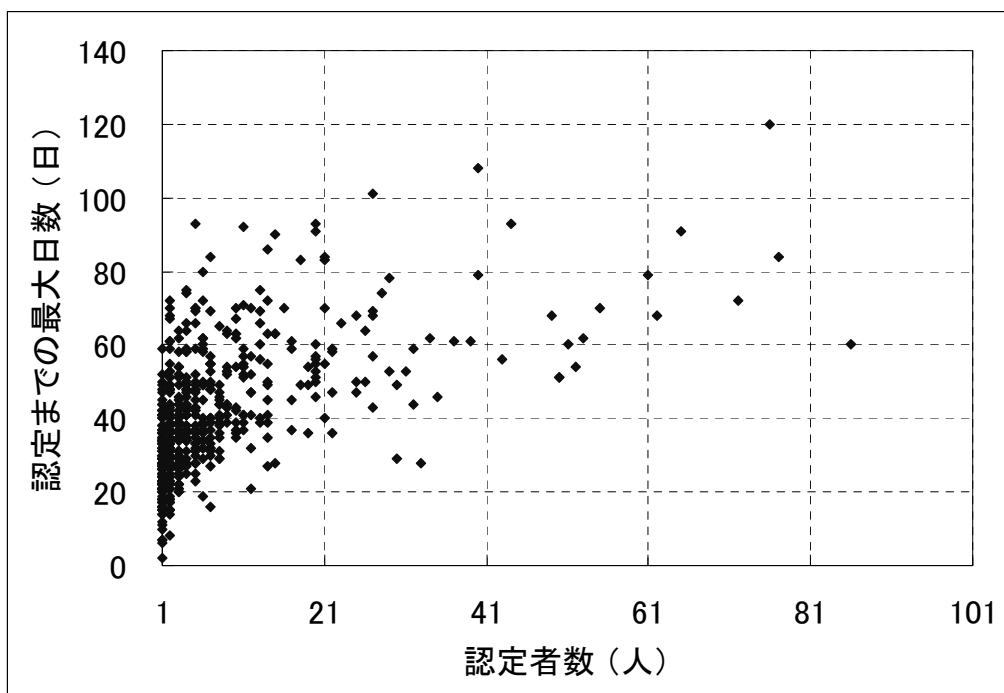
平均値の一般的な性質から、認定者の人数が少ないほど認定までの平均日数のバラツキは大きくなっており、認定者数が多くなると平均値は 30 日付近に収斂していくように見える。(図表 B-1)

認定までの最大日数については、認定者数と正の相関があるように見える。相関係数は 0.56 であった。(図表 B-2)

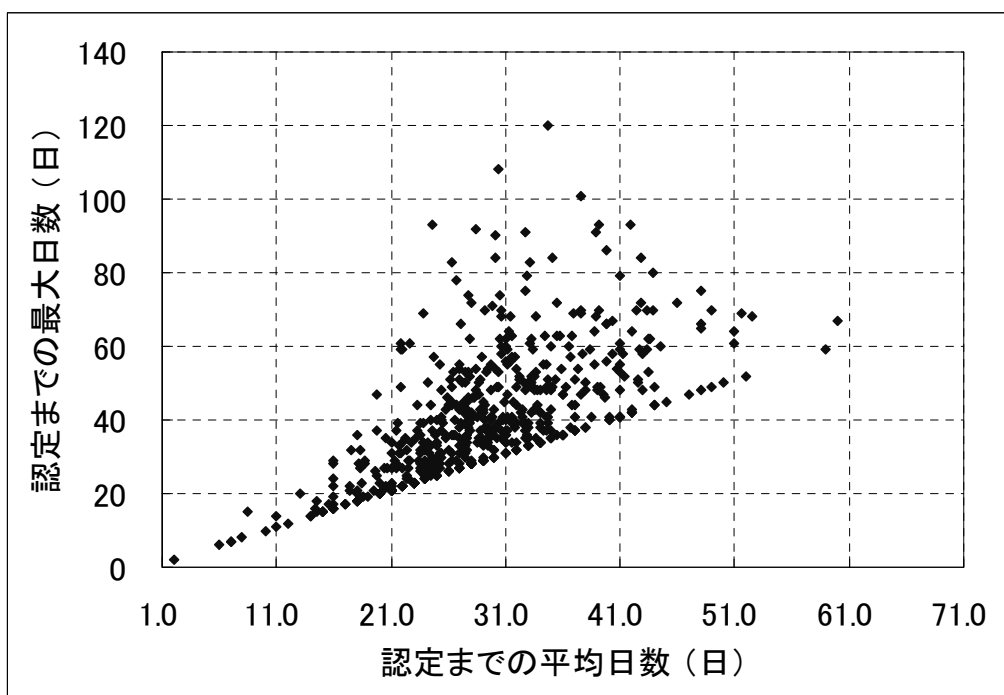
図表 B-1 保険者単位でみた認定者数と認定までの平均日数の散布図



図表 B-2 保険者単位でみた認定者数と認定までの最大日数の散布図



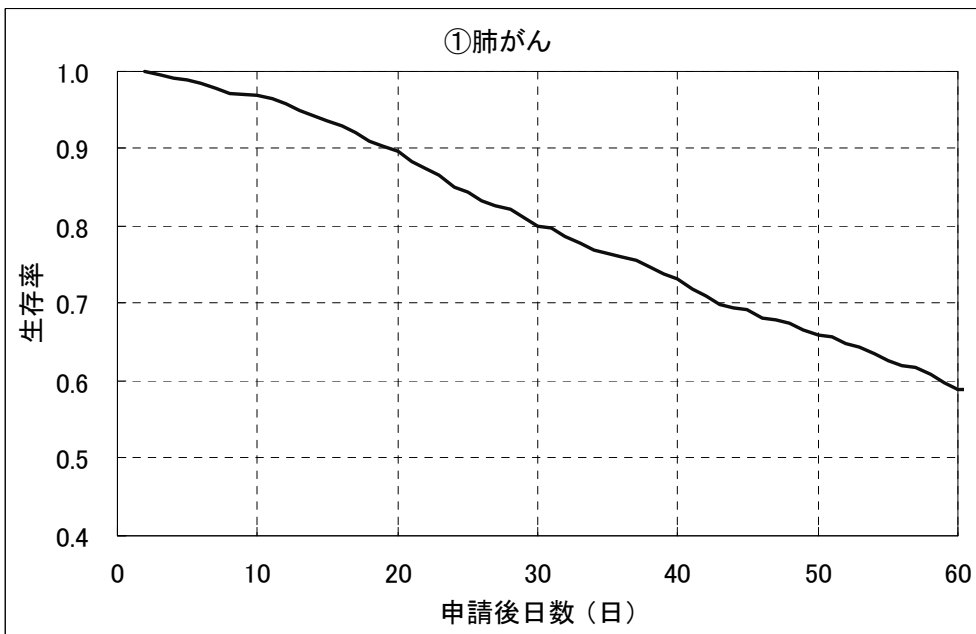
図表 B-3 保険者単位でみた認定までの平均日数と最大日数の散布図



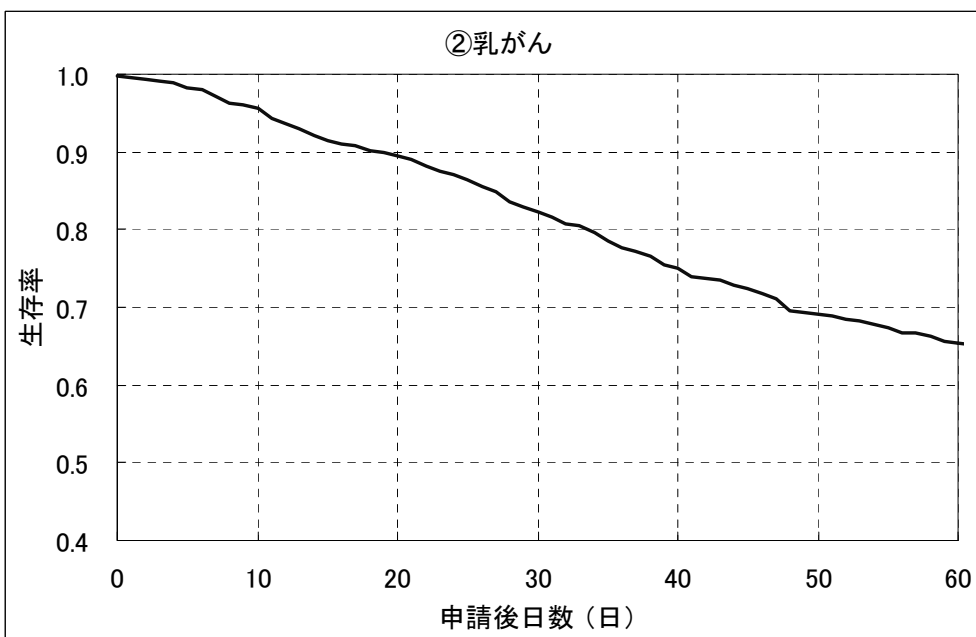
(注) 最大値 \geq 平均値なので、 $Y=X$ の上側に分布している。

附録C. がん発生部位別の生存曲線

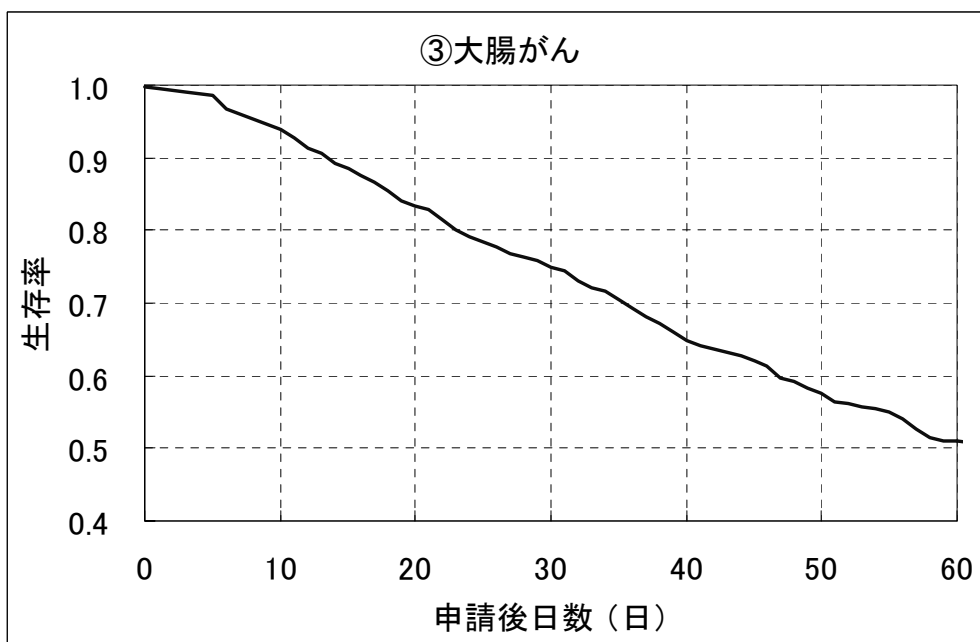
図表 C-1 肺がんの申請後の生存曲線



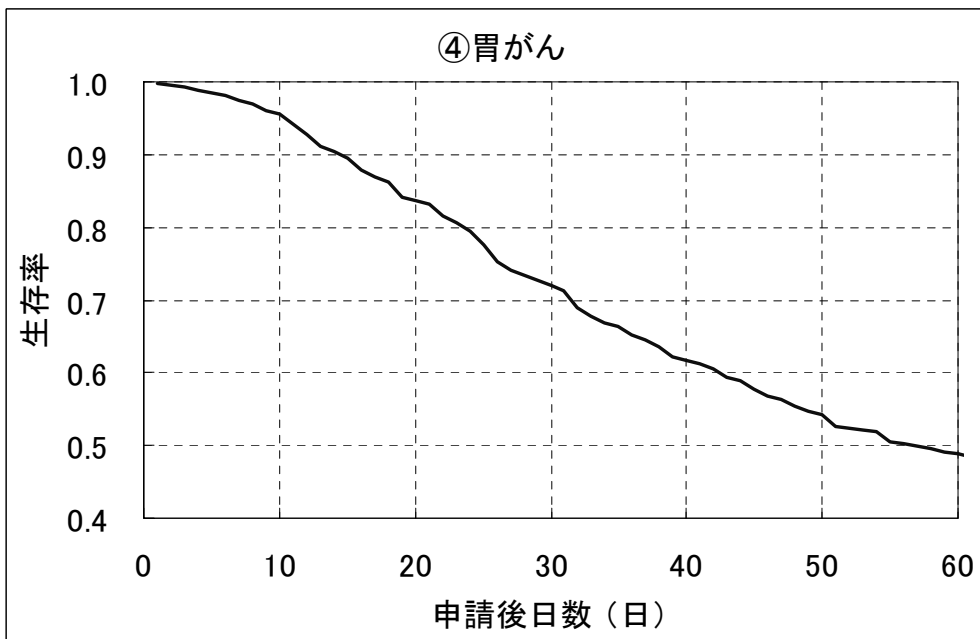
図表 C-2 乳がんの申請後の生存曲線



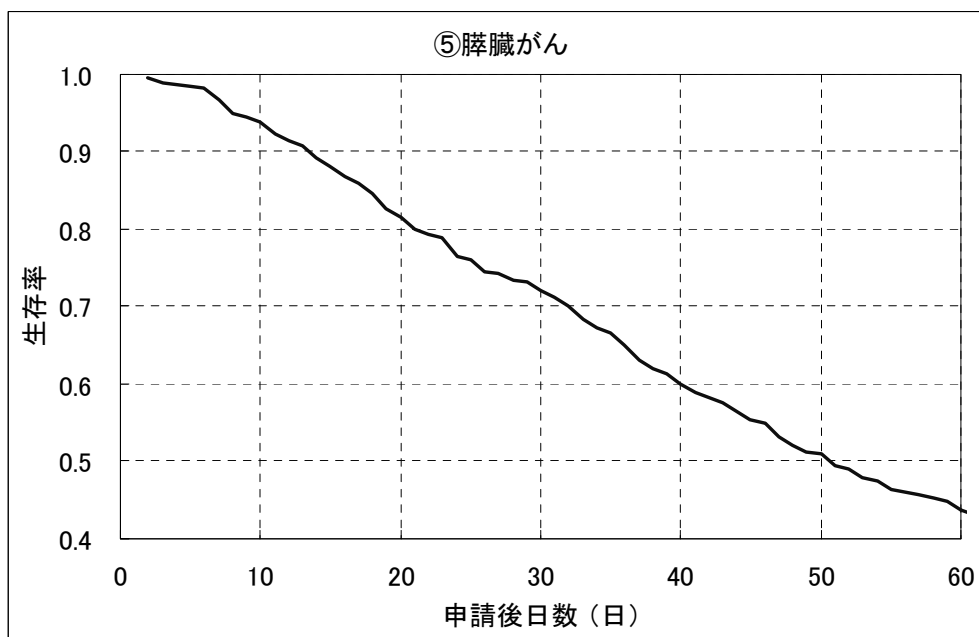
図表 C-3 大腸がんの申請後の生存曲線



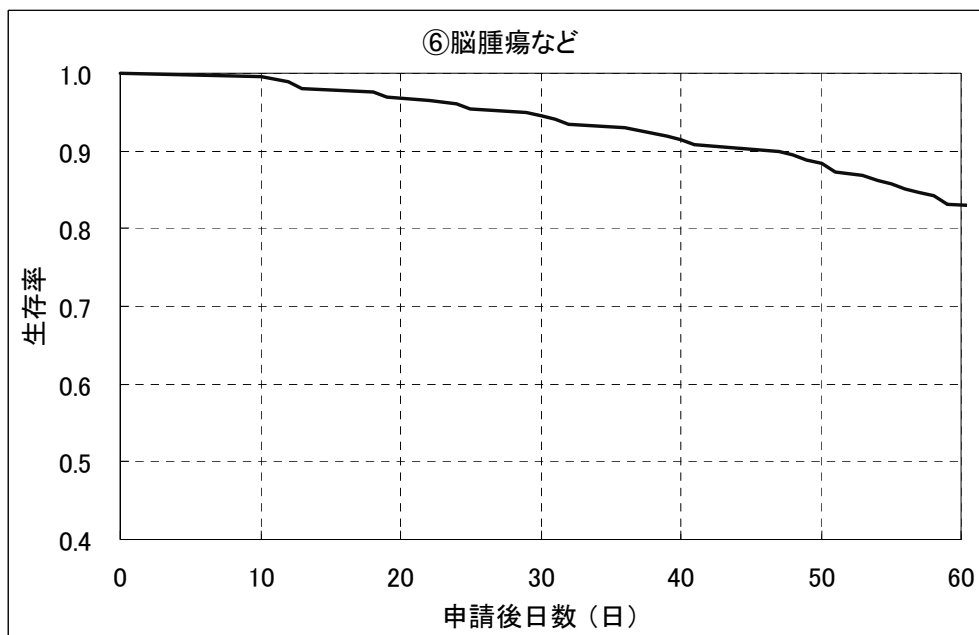
図表 C-4 胃がんの申請後の生存曲線



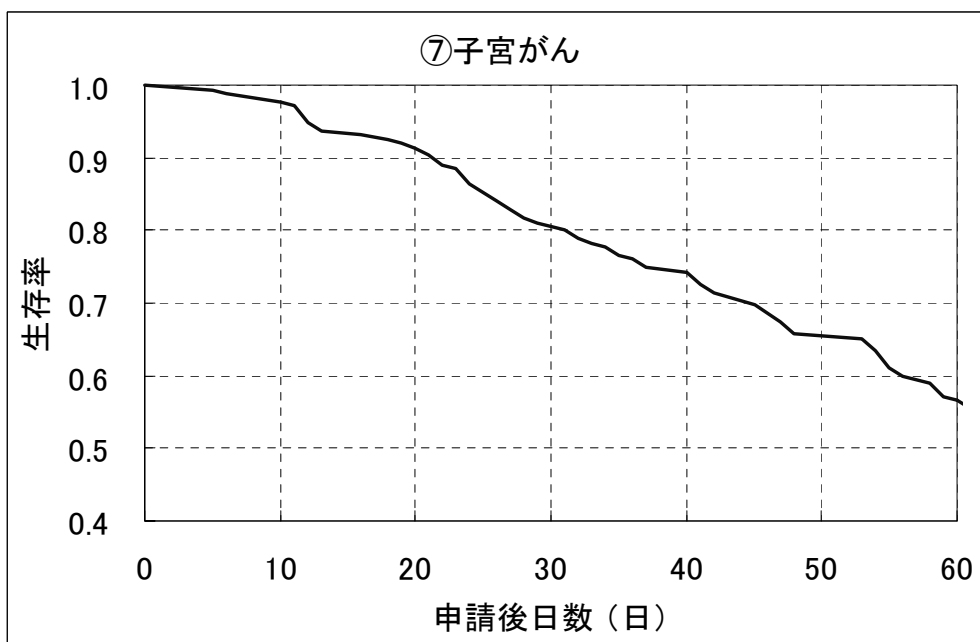
図表 C-5 膵臓がんの申請後の生存曲線



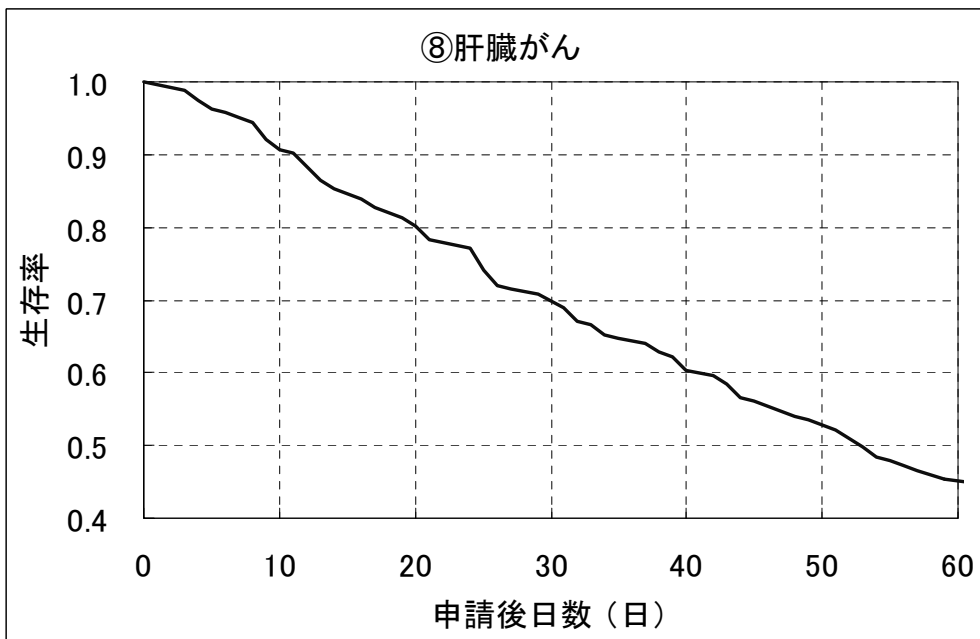
図表 C-6 脳腫瘍などの申請後の生存曲線



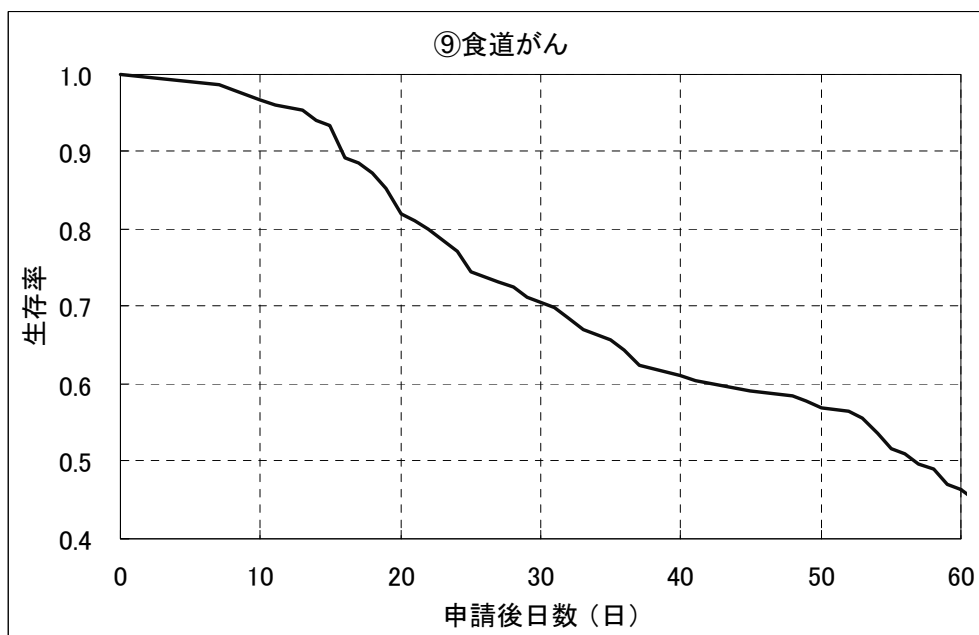
図表 C-7 子宮がんの申請後の生存曲線



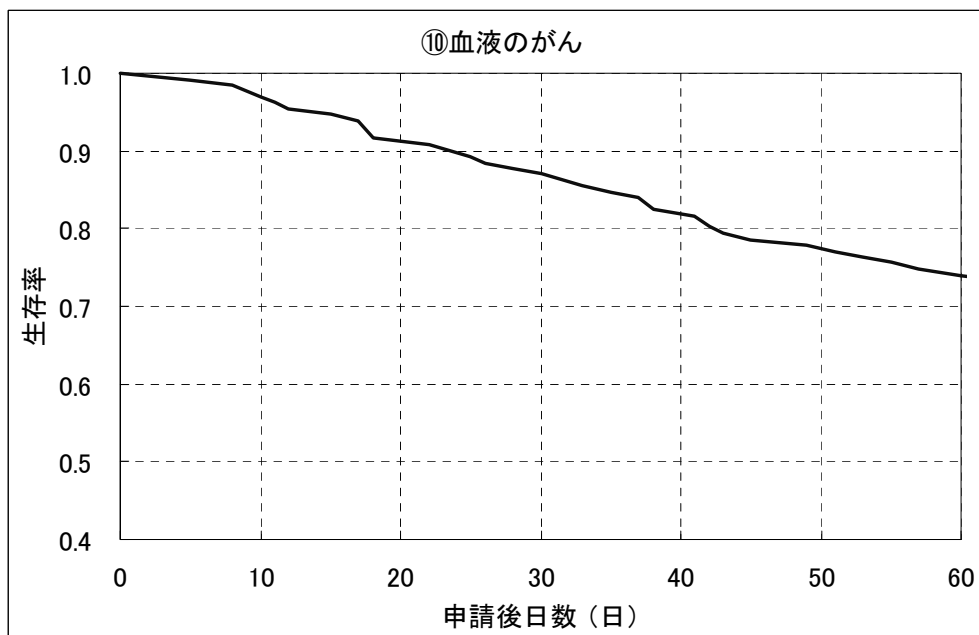
図表 C-8 肝臓がんの申請後の生存曲線



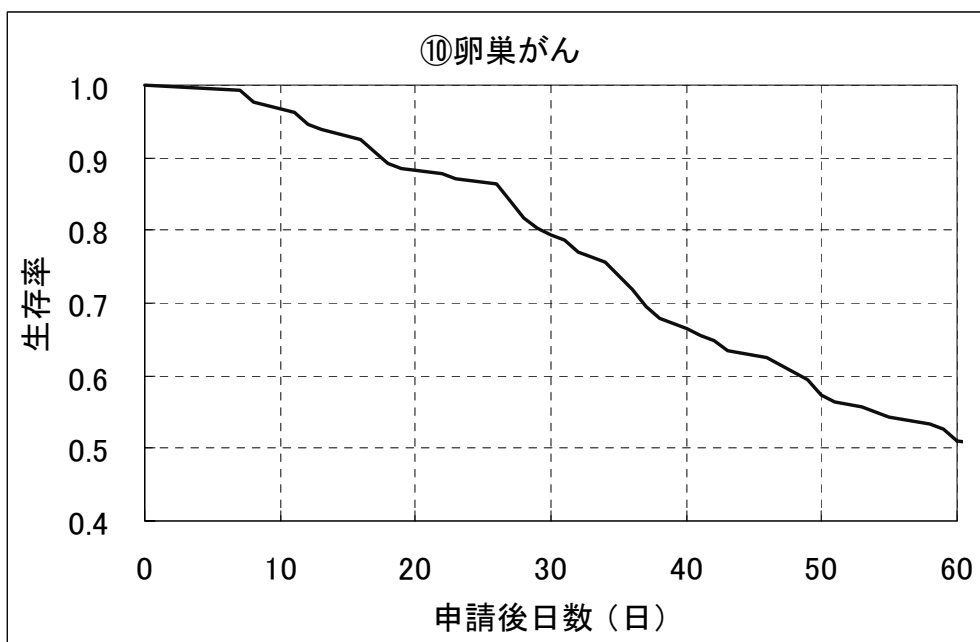
図表 C-9 食道がんの申請後の生存曲線



図表 C-10 血液のがんの申請後の生存曲線



図表 C-11 卵巣がんの申請後の生存曲線



図表 C-12 その他のがんの申請後の生存曲線

